

## 第1章 研修の概要

## 1-1 研修の目的

地球環境を保全していく上で大きな課題の一つに、開発途上地域の開発等に伴う環境問題の深刻化がある。財源・技術・人材等の不足する開発途上地域の開発プロセスにおいては、より一層の地球環境への配慮が求められている。そのためにも、国際的な環境協力が必要であり、NGO もその一翼を担うことが期待されている。

本研修においては、

- 1) 現地における実践活動の体験
- 2) 開発途上地域の環境問題の現状とその原因についての考察
- 3) その背景にある文化や社会状況についての把握

を通じて、環境保全・国際協力の意義・必要性について高い意識を持ち、将来的に NGO 活動に取り組もうとする人材の育成を目的とした。

## 1-2 研修参加者

上記の目的に鑑み、本研修の参加対象者は、開発途上国における環境 NGO の活動に参加しようとする者であって、以下に示す応募要件を満たすことを条件とした。

- (1) 環境保全ボランティア活動歴を有すること。
- (2) 心身共に健康であること。
- (3) 日常生活に困らない程度の英会話能力を有すること。

参加者の公募は、2006年6月12日（月）から約1カ月間、環境再生保全機構のホームページ上や NGO を含む民間団体等への募集要項の送付等により行った。応募者のうち、書類審査により6名の研修生を決定した（表 1-2-1）。

表 1-2-1 研修参加者

研修生氏名	所属
赤羽 洋	三重大学生物資源学部共生環境学科
泉川 洸	東京国際大学国際関係学部国際関係学科
竹森 絵望瑠	明治学院大学法学部政治学科
中村 あゆみ	北海道教育大学札幌校地域環境教育課程
古田 美幸	広島大学大学院国際協力研究科教育文化専攻修士課程
李 尚美	東京大学大学院新領域創成科学研究科国際協力学専攻修士課程

### 1-3 研修日程及び概要

2006年8月4日(金)に環境再生保全機構にて事前研修会を行ない、バングラデシュの基礎情報や視察予定先の概要を説明した。続いて、2006年8月23日(水)から9月15日(金)までバングラデシュにおいて環境保全、村落開発等の分野で活動するNGOや二国間援助機関の取り組み等を視察し、関係者と共通の課題等について意見交換を行った(表1-3-1・1-3-2)。

表 1-3-1 研修日程

日時	行程・研修内容	宿泊地
8/23(水)	成田より香港へ移動 香港到着 香港よりダッカへ移動	ダッカ
8/24(木)	ダッカ到着 ホテルへ移動 買物、オイスカ・バングラデシュ研修センターへ移動 オイスカ研修センターにてオリエンテーション	
8/25(金)	オイスカ OB プロジェクト視察	
8/26(土)	オイスカ研修センターにて実習	
8/27(日)	国際協力機構(JICA)ーダッカ廃棄物プログラム視察	
8/28(月)	オイスカ研修センターにて実習 YKK(ダッカ輸出加工区内)・独立記念塔視察	
8/29(火)~8/30(水)	オイスカ研修センターにて実習	
8/31(木)	現地 NGO (PROSHIKA) 視察	
9/1(金)	オイスカ「子供の森」計画対象校を訪問 (Children's Forest Program - CFP)	
9/2(土)	オイスカ研修センターにて実習 オイスカ研修センター出発 ダッカ空港へ ダッカよりジョソールへ ジョソール到着	
9/3(日)~9/4(月)	アジア砒素ネットワーク(AAN)プロジェクト地にて実習	
9/5(火)	JICA-AAN 共同プロジェクト地にて実習 (持続的砒素汚染対策プロジェクト)	
9/6(水)	アジア砒素ネットワークにて実習 ジョソールよりダッカへ ダッカ到着	ダッカ
9/7(木)	ダッカよりコックスバザールへ コックスバザール到着 過去の植林地の視察 オイスカマングローブプロジェクトへ移動 プロジェクトハウス到着	コックス バザール
9/8(金)	オイスカマングローブ植林地での実習	
9/9(土)	オイスカマングローブ植林地の視察	

9/10 (日)	オイスカマングローブ植林地での実習	
9/11 (月)	現地 NGO (UBINIG) 視察 現地 NGO (Bangladesh POUSH) 視察	
9/12 (火)	コックスバザールよりコミラへ移動(車両移動) コミラ到着	コミラ
9/13 (水)	日本下水文化研究会プロジェクト視察	
9/14 (木)	コミラよりダッカへ移動(車両移動) オイスカ研修センターにて研修のまとめ ダッカへ移動	
9/15 (金)	ダッカより香港へ移動 香港到着 香港より成田へ移動 成田着 空港にて解散	機内

\* 8/24(木)～9/1(金)に不定期でバングラデシュ女性農業研修センターを訪問

表 1-3-1 研修概要

研修受入れ先 ＜環境問題を考察するうえでの参考視点＞	研修概要
オイスカ –OBプロジェクト– ＜開発活動のインパクト・自立発展性＞	オイスカ OB へのインタビュー ＜農場の視察＞ –水田, 畑, 養鶏, 果樹
オイスカ –バングラデシュ研修センター– ＜農業・人材育成分野からのアプローチ＞	鳥の解体作業, 農業実習 (出荷準備作業) 農業実習 (畑の撤収作業) 農業実習 (野菜畑での除草・誘引作業など) 農業実習 (支柱立てなど) 鳥の解体作業, 農業実習 (出荷準備作業)
国際協力機構 (JICA)バングラデシュ –ダッカ廃棄物プログラム– ＜廃棄物処理・二国間援助機関の取組み＞	ダッカの廃棄物処理環境に関するブリーフィング ＜主な視察内容＞ –住民参加型収集改善への取組み –リサイクル工場 –ブリガンガ川 (オールドダッカ上水道の原水)の汚染状況 –マトワイル最終処分場及び、医療廃棄物処理施設 –プログラム関係者・ダッカ市民へのインタビュー
吉田工業株式会社 (YKK) バングラデシュ工場 ＜産業分野及び、特定企業の視点・取組み＞	YKK 事業全般と環境問題への取組みに関するプレゼンテーション YKK 工場内の視察 YKK 職員へのインタビュー (独立記念塔への訪問)
バングラデシュ女性農業研修センター ＜ジェンダー配慮＞	女性農業研修に関するブリーフィング センター職員・研修生へのインタビュー
PROSHIKA (Human Resource Development Center - HRDC) ＜現地巨大 NGO によるアプローチ＞	PROSHIKA の活動全般に関するプレゼンテーション ＜HRDC 内視察＞ –農場, 蜂蜜生産施設, 養鶏, バイオガス処理施設, 機織工場, PROSHIKA スタッフへのインタビュー

オイスカ 「子供の森」計画 ＜長期的視野に立った環境教育＞	＜CFP 対象校にて＞ －教職員に面会・インタビュー －学校林の視察 －学生達との交流
アジア砒素ネットワーク (AAN) ＜保健分野からのアプローチ・草の根レベル＞	村の砒素汚染の状況に関するブリーフィング 村の各種代替水源(safe water options)の現状を視察 村人へのインタビュー 患者訪問 栄養プログラムの現場を視察し、実際にプログラムで作られた料理(キチュリ)を試食 砒素問題全般と AAN 活動に関するプレゼンテーション 砒素汚染対策としての深井戸(DTW)の視察 パジャ・ユニオン砒素対策委員会ミーティングに出席 ケンヤプール郡病院を訪問し、院長に面会・インタビュー
JICA-AAN 共同プロジェクト －持続的砒素汚染対策プロジェクト－ ＜保健分野からのアプローチ・行政レベル＞	プロジェクト概要についてのブリーフィング 県知事に挨拶、副知事に面会・インタビュー 郡長との面会・インタビュー 郡の砒素汚染村を視察 村人へのインタビュー パイプライン給水施設を含む、代替水源の視察 バングラデシュ・インド国境視察 AAN でのフィードバックセッション
オイスカ マングローブ植林プロジェクト ＜環境保全活動＞	過去の植林地の視察 苗床での播種実習 過去の植林地の視察 マングローブ植林実習
UBINIG ＜伝統的農業の復活・普及＞	UBINIG の活動全般に関するプレゼンテーション ＜施設内視察＞ －育種農場, 種子保存施設, 養鶏, 畜産, 堆肥製造, 籾摺り精米所－ UBINIG スタッフへのインタビュー
Bangladesh POUSH ＜環境保全・環境教育、地球環境基金助成先＞	Bangladesh POUSH の活動全般に関するプレゼンテーション POUSH 運営の小学校、植林プロジェクト視察 POUSH スタッフ、メンバーの村人へのインタビュー
日本下水文化研究会 －エコサントイレ普及プロジェクト－ ＜衛生改善・堆肥製造、地球環境基金助成先＞	カウンターパートである BARD(Bangladesh Academy for Rural Development)に関するブリーフィング エコサントイレ普及活動に関するブリーフィング ＜主な視察内容＞ －エコサントイレを導入した家庭訪問、トイレの視察 －実際に使用している住民へのインタビュー －担当者、住民との意見交換

＜研修同行者＞

独立行政法人環境再生保全機構	地球環境基金部	西谷	綾子
	〃	白倉	智美
財団法人オイスカ	国際協力部	森田	章
	〃	杉山	達哉

視察地位置図 (バングラデシュ)

